



NPO法人仙台夜まわりグループの目的

路上生活を余儀なくされているホームレスの方々、また、社会的なサービスを受けにくい生活困窮者の方々に、生活支援、自律支援に関する事業を行い、社会に寄与することを目的とします。

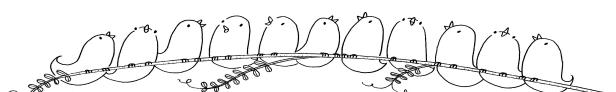
こんなことをしています

◆生きるために欠かす事のできない食事・衣類・日用品を提供しています。

カレーライスの炊き出し（五橋公園）と豚汁・ご飯の食事会（福祉プラザ）を開催しています。食事の後、衣類、靴、下着、毛布、寝袋、日用品（タオル、石けん、シャンプー、ひげそり等）、家庭用品（鍋、カセットコンロ等）、保存食品、弁当などの配布をしています。また週に一度、ラーメンなどの軽食提供もしています。

◆安否の確認と入院などの緊急支援をしています。

定期的な夜回りや必要に応じてひとり一人を訪ね、安否を問います。体調が悪い方には、医療費支援の方法を提案したり、病院に付き添ったり、救急車を呼んだりします。暖かいみそ汁と、慢性的なビタミンとタンパク質不足を補う為の果物、ゆで卵、冬には使い捨てカイロ等と支援案内ちらしを持って、皆の寝床を回ります。



◆相談支援をしています。

夜回りや炊き出し、その他必要に応じて相談を受けます。配布するちらしには、理事長と事務局長等の携帯電話番号を載せて緊急時の対応も出来るよう努めています。健康、仕事、多重債務、ドメスティックバイオレンス、離婚など、路上から自立に向けてのさまざまな相談を受け、必要な情報の提供と支援をしています。また、人が人として最低限の生活をする「権利」を確認するためのセミナーを開催しています。派遣切り・雇用止で困窮している方々へのアドバイスもします。

◆居宅提供をしています。

路上で暮らしている方、生活困窮者の方々を受け入れてくださる大家さん探しなどのアパート入居の支援に加え、2004年4月から簡易住宅提供事業を始めました。一人での自立生活が困難な高齢者、病や障がいを抱えている方々が一緒に生活し、自立に備えることが出来る食事付きのグループホーム的環境を備えた施設他、特別の課題を抱えた方の施設等も運営しています。

◆就労支援をしています。

エコに貢献するリユース事業、清掃事業を通して就業の取り戻しにつながる支援をしています。また、アパート生活を始める方々に必要なリユ

ス品を後払い可で提供し、生活支援をしています。

◆行政との定期的な懇談をしています。

市のホームレス支援策が適切に実施されるよう仙台市の担当部署と定期的（月一度）の懇談、提言を行っています。また、市より委託を受け毎週シャワー・洗濯提供、助成を受け月3回の清掃アルバイト提供をしています。

◎助成をしていただいた団体、継続中の団体◎
宮城県共同募金会・丸紅基金・日本財団
仙台市社会福祉協議会・いきいきネット支援・みやぎNPO夢ファンド・みんみんファンド・社会
福祉事業研究開発基金・河北新報・仙台市清掃事業助成・衛生改善事業委託 その他（以上敬称略）

私たちは、「できる人ができる時にできる事を」をモットーに、誰もが生きやすい町づくりをめざして活動をしてきました。ボランティアを始めた方、献品等の志のある方、どうぞご一報ください。心よりお待ちしています。

活動は仙台市内や県内の当事者との出会いの場が中心です。事務所は拠点ではありますが、弱小NPOで、常駐スタッフを置ける力がありません。原則、火・金曜日の10時～15時にスタッフがおります。ご連絡、宅配便、ご来訪はその時間帯でしたら助かります。時間外には留守電、ファックスがご利用いただけます。